



つながる つたえる のびる
高ヶ坂小学校

2024年7月19日
町田市立高ヶ坂小学校
校長 岩崎 直美
学校だより 1学期末号

HP : <http://www.machida-tky.ed.jp/e-kougasaka/>

1学期の終わりに

校長 岩崎 直美

4月8日(月)から始まった1学期の学校生活が本日で終了しました。この間、71日。323人の子どもたちがいつも元気に、そして笑顔で過ごすことができるように取り組んでまいりました。

7月1日(月)の朝会講話と、19日(金)終業式での校長講話をそれぞれ概要版でお伝えします。

【7月1日 朝会での校長講話】 「見えない『努力の壺』」

今までできなかったことに挑戦しようとするとき、目に見えない「努力の壺」のような物が心の中にできるそうです。その壺の中に努力の水を入れていき、いつかあふれ出ると、できるようになるということです。その壺には4つの特徴があることが、科学的に分かっています。

- 1つ目。人によって壺の大きさが違うということ。すぐにできるようにならないときは、努力の水がたまっているときなので、我慢することが大切です。
- 2つ目。努力の水を入れ続けなければ、水は乾いてしまうということ。コツコツ努力し続けることが大切です。
- 3つ目。努力の水が一度でもあふれ出れば、その後に減ることはあっても、なくなってしまうことはないということ。ちょっと努力すれば、すぐに元に戻ります。
- 4つ目。大人の壺より子どもの壺の方がずっと小さいということ。子どもの方がすぐに上達するので、今のうちに頑張ることが大切です。

【7月19日 終業式での校長講話】 「あ・ゆ・み」

学期末に渡される通知表「あゆみ」にはどんな意味があるのでしょうか。私の考えです。

あゆみの「あ」は、新しい目標を見つけるため。

あゆみの「ゆ」は、夢をかなえる力を身に付けるため。

あゆみの「み」は、魅力ある自分に出会うため。

「あゆみ」という言葉は、一人で「歩く」という意味と、みんなで心を合わせて歩く「歩調」という意味があります。どちらの歩みも大切です。明日から44日間の夏休みです。随分とたくさんの時間があるので、目標をもち、やり続けることができれば、成果が出ることは間違いありません。323人一人一人がちょっぴり成長するだけで、学校は驚くほど大きく変わるものです。

今日で高ヶ坂小学校とさよならするお友達がいます。新しい学校でも元気に頑張ってください。

最後に、命は、一つです。たった一つの大切な命です。一人一人が自分の命を大切にしましょう。事故に遭わず、病気やけがをせず、9月2日、元気に、そして、笑顔で会いましょう。

1学期も学校のホームページを通して、子どもたちの様子をお伝えしてきました。毎日全学級の様子をお届けすることはできませんでしたが、多くの皆様がアクセスしてくださいました。ありがとうございました。町田市立小中学校のホームページは8月7日からリニューアルすることになりました。これまでとは形式が変わるようですが、今後も学校と保護者の皆様、地域の皆様をつなぐものとして配信してまいります。夏季休業中は、日直の教員が「夏休み日記」を配信する予定です。お時間がありましたらご覧ください。

22日(月)からは個人面談が始まります。暑い中、そして、お忙しい中をお越しいただくことになり恐縮です。お子さんのことについて担任と深いお話ができればと思います。また、6年生は、26日(金)から日光林間学校に出かけます。安全に気を付け、そして、小学校生活最高の思い出となるように、引率する教員みんなで子どもたちを見守ってまいります。これまで培ってきた力を発揮してくれるものと期待しています。出発までの1週間、健康管理に気を付けてください。

保護者の皆様、地域の皆様には、1学期間大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。